

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(7/11)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
とやま地域共生型福祉推進特区 (富山県)	3.6	3.2	3.4	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の課題に対応した規制の特例措置の提案が全国実施に発展し、波及効果も見えてきており、高く評価できる。 ・評価指標の数値目標は未達成だが、富山型デイサービス施設事業所が着実に増えていることや、起業家養成、職員研修等の取組を広げる活動も十分行われていることなど、全体として富山型モデル事業の進展と定着が窺える。 ・前回の所見を受けて設定されたサブ指標(就労継続支援B型支給決定者の定着率)が高い点を評価したい。 ・最終的には、特区で推進している共生社会の実現によって、障害者や高齢者など共生する人々の間の関係やQOLがどのように変化したかを明らかにできるとインパクトはさらに強くなると思われる。
		<p><u>進捗度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山型デイサービス事業所における障害者の福祉的就労者数 53% ・富山型デイサービス事業所数 84% ・認知症高齢者と居間等の設備を共用する障害者グループホームの入居者数 63% 	<p><u>規制の特例等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域共生型障害者就労支援事業 ・通所介護事業所における高齢者の宿泊及び障害者の受け入れ 等 <p><u>地域独自の取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山型デイサービス施設整備事業 ・富山型デイサービス起業家育成講座 等 		